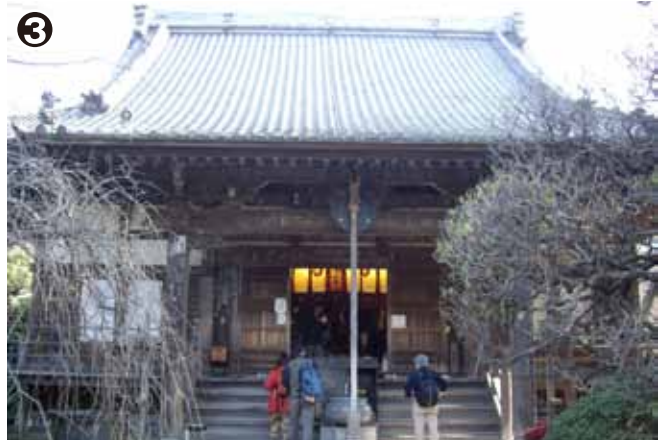




② 鶴岡八幡宮・旗上弁財天社(弁財天)／境内にある源平池の東の島にあり、御社殿は八幡宮御創建800年(昭和55年)に、文政年間の古図をもとに復元された。



③ 宝戒寺(毘沙門天)／元弘3年(1333年)新田義貞の鎌倉攻めにより滅んだ北条高時氏の霊を慰めるため、建武2年(1335年)後醍醐天皇が足利尊氏に命じ北条執権邸跡に建立した。毘沙門天像は、本堂内左に安置されているが撮影は禁止。



④ 妙隆寺(寿老人)／妙隆寺一帯は鎌倉幕府の有力御家人だった千葉常胤の子孫・胤貞の別邸跡と伝えられ、「千葉屋敷」とも呼ばれている。妙隆寺は胤貞が祖先追福のため、至徳2年(1385年)、七堂伽藍を建立して妙隆寺を創建し、中山法華経寺の日英上人を開山に迎えたといわれる。寿老人像は境内の小さなお堂に祀られている。



⑤ 本覚寺(恵比寿)／永享8年(1436年)に日出によって創建された。もともとここには天台宗系の夷堂があったが、日出はこれを日蓮宗に改め、本覚寺とした。また、眼の病気を治してくれる寺として知られ、「日朝さま」の愛称で親しまれている。



⑥ 長谷寺(大黒)／天平8年(736年)の創建と言われ、坂東33ヵ所観音霊場の四番札所であり、本尊の十一面観音は高さ9.18mあり木造では日本一と言われている。境内の大黒堂には県内最古、応永19年(1412年)作の大黒天像がある。



⑦ 御霊神社(福祿寿)／創建年代は詳らかではないが鎌倉近辺にあった平氏五家(大庭・梶原・長尾・村岡・鎌倉)の祖を祀る神社として建てられたもの。樹齢350余年のタブの大樹(かながわ名木100選)がある。福祿寿は境内にある宝物庫に安置されている。



新年のご挨拶

昭和3年生まれ 県西支部 稲葉 隆

あけましておめでとうございます。私も昭和3年生まれで今年84歳の年男です。昭和27年に建築士の免許を取りすぐに建築事務所を開設。今日まで60年皆様の応援で何とか参りました。これからも建築士事務所協会の発展と、会員皆様のご健康をお祈りいたします。



「旅」

昭和15年生まれ 横浜支部 浅間 元基

毎月2回、裏千家のお稽古に通っています。

折々のテーマをもって我が家でも社中の人や友達を招いてお茶会を開いています。

皆さん楽しいらしく、次回は何日かと言って帰られます。

旅先で犬山の如庵など茶室をたずねて利休や有楽斎などの茶人がこの茶室でどんなお茶を立てていたのか想いめぐらす楽しみ、又、その土地の窯元で好みのお茶碗を見つける楽しみ、これからもその楽しみを求めて旅をしたいと思っています。

角なしさざえ

横須賀支部 若命 陽子

9

今年は年女です。横須賀に珍しい龍がいます。米ヶ濱にある龍本寺の向拝の虹梁の上です。

多くの龍は宝珠と言う水晶の様な玉を手にして居ます。ここの龍は「さざえ」を持っています。

横須賀では角なしさざえとして有名です。布教の為流れ着いた日蓮聖人の話が残っています。

助けてくれた漁師の足から血が流れるのを見て聖人はさざえの角で傷が付かないようにこのあたりの「さざえ」は角なしさざえにしたそうです。この漁師が出家して草庵を建てたのが龍本寺のはじまりです。すごい彫刻のある寺です。銘菓をお土産にどうぞ。



年男の抱負

昭和27年生まれ 川崎支部 上原 伸一

私は間もなく60歳の還暦を迎えますが、日事連も50周年、また士会連合会も60周年の節目を迎えると聞いて、少しは建築の世界と縁があったのかも知れませんが。60年の前半30年は、小学校まで、小学校、中・高（一貫校）、大学・大学院（修士）、事務所勤務、と6年周期の人生でしたが、後半の30年はただひたすらに事務所を運営。そんな節目人生から、これからは1年1年がいろいろな意味で勝負という人生になるとと思っています。

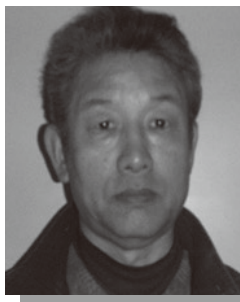


年男・今年の抱負 昭和27年生まれ 鎌倉支部 梅澤 典雄

僕が生まれた昭和二七年には、家にテレビも車もエアコンそしてパソコンなかった。暖房は掘り炬燵と火鉢だけだった。僕らは、テレビのない茶の間を知っている最後の世代だ。

やがて大量生産と大量消費の先にある幸福を疑わず青春を送った。そして今の日本の姿。しかし今、こうした経済社会の先に人類の未来はないことを悟った。

「未来の子供たちに何を残せるのか。」新たな壬辰（みずのえたつ）からは原点に立ち返って生きようと思っている。



新春のご挨拶 昭和27年生まれ 相模原支部 佐藤 眞吾

明けまして、おめでとうございます。

震災の傷跡が癒えぬ平成23年が暮れ、そして新しい年が明けました。

あらためて震災でお亡くなりになられた方々のご冥福と、被災された皆様の暮らしに穏やかな日々が一日も早く訪れんことを、心よりお祈り申し上げます次第です。

朴訥で粘り強い東北人気質がある限り、東北は立派に再生復興するものと確信しております。

私も微力ではありますが、福島のお米や果物を食べたり、岩手、宮城、福島に旅行に行ったりと、東北の再生復興に尽くす所存であります。

最後になりますが、本年も相変わリませずご指導いただきますよう、よろしくお願い致します。

10



『60歳・・・？』 昭和27年生まれ 川崎支部 吉田 宣郎

同世代なら分かるであろうこの複雑な気持ち。

高齢者住宅の入居可能年齢は60歳からと聞き・・・。

〈人生七十古来稀なり〉唐の詩人・杜甫が詠じたから70歳を古希と言う。

年寄りに贈ったこんな詩もある。沙孟海の〈百歳は古来稀なり、90歳は奇とするに足るなし、80歳は大いに為すべし、70は得ること多し〉と『よみうり寸評』にあった。古希は七掛けだ。すると60歳は42歳となり働き盛りではないか？これからも自問自答。



年男・今年の抱負 昭和51年生まれ 事務局 野口 友弘

年々、日が経つのが早くなってきていますが、特に昨年はみらいふれあいフェスティバル2011の開催等もあり、とても充実したあつという間の一年でした。会員の皆様方におかれましては開催に係るご協力誠にありがとうございました。今年、私的には結婚して10年目ということもあり、会の更なる発展はもちろんこと、自己の発展もできるよう頑張りたいと思います。

神事協ホームページ リニューアル

広報情報委員会HP部会 小泉 厚

新年あけましておめでとうございます。

このたび広報情報委員会では、社団法人神奈川県建築士事務所協会の一般社団法人化への移行に伴い、ホームページのリニューアルを行いました。

本年1月5日より新たなホームページがご覧になれます。

TOPページではFLASH画像を取り入れ、神奈川県の誇れる景観写真のもと、スッキリとしたつくりとし、アクセスしやすい整理された構成を試みました。

一般社団法人への移行で一般消費者への周知がより一層必要となります。そこで、リニューアル後のホームページでは、普段馴染みのうすい建築士事務所に対して一般の方々にもアクセスしやすく、簡単に明確な情報が得

られる構成としました。

また今回は会員以外の建築士事務所の方々へも講習会・セミナー等の情報を共有できる体制をとり、建築士事務所協会の活動を知ってもらうことで、会員増強へとつながる一つの手段となればと思っています。

会員の方々には今まで以上に便利な情報やツールを備え、会員外との特化を図り、皆様のお役に立つことを願っています。

今後ホームページを運営していく上で、より一層充実した内容のものとしていくために、終わりのない進行形と考え、情報を更新しながら会員の皆様からも情報提供や作品紹介、また、ご意見を募りますのでご協力をお願いいたします。

11



←ログイン用
会員番号入力欄

※リニューアルに伴い、
会員ページへのログイン
方法が「会員番号」での
入室に変更になります。

会員番号(数字7桁)は、
会報発送の封筒に印字
されていますので、
ご確認くださいませよう
お願いいたします。

臨時総会・委員長会・理事会 開催概要

平成23年度 臨時総会 概要

平成25年4月1日の一般社団法人移行を目指し、新定款改正のための臨時総会が平成23年12月2日（金）午後2時より、横浜市技能文化会館2F多目的ホールにて開催されました。小林副会長の開会の辞、上原会長の挨拶に続き、定足数の確認により、議場出席者64名、署名表決による出席者555名、合計619名の出席により総会が成立。

議長を水村好男海老名支部長、副議長を谷田康司座間支部長に選任。議事録署名人を議長の他、上原伸一会長、野口謙次郎藤沢支部長の2名を選出し、議案の審議に入る。

第1号議案定款改正について三杉専務が説明。議案の説明を前に、当日配付の正誤表を説明、①7頁、第19条第2項本文中、第32条→第21条②10頁、第31条第3項本文中、第17条→第27条③12頁、第39条第2項第六号本文中、第25条→第35条④12頁、第40条第3項

第四号本文中、第20条→第30条⑤13頁、第46条第2項本文中、第19条→第29条⑥15頁、第53条第2項本文中第9条第3項→第9条第4項に修正。議案説明後、議場出席者と書面表決者併せて606名の承認により、定款改正のための会員の3分の2以上を満たしており第1号議案承認。続いて、第1号議案の付帯決議について三杉専務が説明。605名の承認により、付帯決議が承認された。

第2号議案会費規程の制定について三杉専務が説明。594名の承認により承認された。

第3号議案常勤役員の報酬費用規程について三杉専務が説明。592名の承認により承認された。いずれの議案も施行日は一般社団法人の設立登記の日。

芝副会長の閉会の辞により臨時総会を終了した。

平成23・24年度 第3回委員長会 概要

平成23年12月8日（木）神事協会議室にて開催。正副会長、各委員長、事務局の計17名が出席し、小林副会長委員長会委員長の進行により、平成24年度事業計画及び予算要求案について検討した。11月17日開催の第2回委員長会にて検討済の委員会の予算修

正案及び今回提出の委員会要求案を併せた全体予算案について検討した。一般社団法人移行と長期的な展望を考え、最終的に総財務委員会でもとめることを決定した。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

平成23・24年度 第4回理事会 概要

平成23年12月8日（木）神事協会議室にて開催。理事25名全員が出席。

報告事項として第1号報告 11月会員入退会の報告。第2号報告 中間監査の報告。第3号報告 後援名義使用承諾5件の報告。第4号報告 東北支援バスツアーの報告。第5号報告 東日本大震災支援金の報告。第6号報告 11月建築士事務所登録について報告があった。

続いて審議事項として第1号議案 12月会員入退会。第2号議案 平成23年度会員増強大キャンペーンについて。第3号議案 広告取扱要領の制定についていずれも提案のとおり承認された。第4号議案 各団体からの委員推薦について、推薦どおり承認された。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

平成24年・三会合同新春賀詞交歓会 開催のご案内

平成24年三会合同新春賀詞交歓会を（社）神奈川県建築士事務所協会、（社）神奈川県建築士会、（社）日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会の三会で下記により開催致します。ご参加につきましては12月号に同封しました案内書にてお申し込み下さい。

記
日 時 平成24年1月20日（金）
受付14：30～ 開会15：00～16：50
会 場 ホテルキャメロットジャパン
（横浜市西区北幸1-11-3）
会 費 6,000円（当日お支払い下さい。）

問題

旅のクイズ 第18回

福島県猪苗代町にある野口記念館に野口英世の生家が保存されています。そこに19歳で上京する際、柱に力を込めて刻んだ15文字の決意文が今も残っています。博士の強い意志を感じるその言葉とはなんでしょうか？

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

（FAX：045-212-3807

E-mail：noguchi@j-kana.or.jp）

※締め切り：平成24年1月20日（金）

当選者は2月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。



KANAGAWA 10月号掲載記事に関する補足 ～「各種地盤調査法の利用と留意点」～

広報情報委員会

先般、KANAGAWA 10月号・5頁に掲載しました、みらいふれあいフェスティバル2011開催レポートの中で、表面探査のデータ信用性に関する質疑応答について下記の点を補足いたします。

「地盤調査は目的に応じた調査が必要であり、液状化判定では土質・水位・硬さの3要素

が必要になります。その為には、ボーリング等により土質試料採取による室内試験（土質試験・粒度分析等）等で土質を解析し、水位及びN値等の地盤の硬さの確認が必要です。従ってSWSや表面探査のみではFL値による液状化判定には無理が生じますので、追加の調査が必要となります。」以上。

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
(有)ホーム工事一級建築士事務所 〒231-0004 横浜市中区元浜町3-21-2ヘリオス関内ビル1F TEL.045-222-8235 FAX.045-222-8283	
大城 孝	
川崎支部	
アトリエ71 〒211-0025 川崎市中区木月2-2-16 TEL.044-430-2850 FAX.044-430-2851	
西 一治	
退会	
川崎支部	
(有)若島工務店一級建築士事務所	
若島 稔	
座間支部	
アパス設計	
村上 馨	
県西支部	
山崎一級建築士事務所	
山崎 英雄	
(株)セイコー建築設計	
武 孝	
変更	
横浜支部	
一級建築士事務所リペアテック建築研究所 (TEL、FAX訂正) TEL 045-507-3550 FAX 045-507-3551	
川崎支部	
(株)山根工務店一級建築士事務所 山根 三郎 (会員名変更) 山根 崇	
系一級建築士事務所 (事務所名、所在地、TEL、FAX変更) (株)系一級建築士事務所 〒210-0004 川崎市川崎区宮本町5-1-405 TEL.044-280-6331 FAX.044-280-6332	
県西支部	
(株)シモダ 下田 秀史 (事務所名、会員名変更) (株)下田組 一級建築士事務所 下田 和孝	
本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載しております。 神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。	

会 勢		平成24年1月1日現在			
支部名	平成23年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	276	14	8	6
川 崎	91	96	9	4	5
横 須 賀	55	52	1	4	-3
湘 南 三 浦	21	18	0	3	-3
藤 沢	22	23	1	0	1
鎌 倉	32	34	3	1	2
茅ヶ崎寒川	16	17	1	0	1
平 塚	21	23	2	0	2
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大 和 綾 瀬	22	20	0	2	-2
厚 木	37	36	1	2	-1
座 間	13	12	0	1	-1
海 老 名	13	14	1	0	1
愛 川	9	7	0	2	-2
相 模 原	88	83	1	6	-5
県 西	49	44	1	6	-5
合 計	785	781	35	39	-4
賛助会員	68	71	10	7	3

1月の行事予定	
1月5日	総財務委員会
10日	建築物等耐震改修評価特別委員会
11日	設計監理指導委員会
12日	正副会長会 委員長会
18日	JW-CAD(日影及び天空率編)研修会1日目(会場:県立東部総合職業技術校)
19日	技術調査委員会 建築物等耐震改修評価特別委員会
20日	三会合同賀詞交歓会
21日	企画業務委員会
24日	ブロック支部委員会 支部長合同ブロック支部委員会
25日	JW-CAD(日影及び天空率編)研修会2日目(会場:県立東部総合職業技術校) 建築物等耐震改修評価特別委員会
26日	木造特別委員会
31日	広報情報委員会

編集後記	猪苗代駅前の食堂で名物のソースかつ丼を食べた。カツがどんぶりに大きくはみ出して、地元産の新米とのコンビは本当においしかった。しかし、地元の話を聞くと、福島産というだけですべてが売れなくなってしまうという。現実とはとても深く深刻だ。いっそ放射能に色がついていればいいのと言っていた。放射線が数値で測れるなら、放射能が見える眼鏡も今の技術ならできると思うのですが。見えない出口はいつまで続くのでしょうか。
	(県西支部 稲葉 勉)

かながわ 平成24年1月号 (通号363号)

発行 平成24年1月1日 (毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 芝 京子
: 佐藤 光良
: 内藤 隆之
: 稲葉 勉 恩田 耕爾
: 北野 義夫 小泉 厚
: 杉崎 雅治 高橋 保博
: 竹尾 秀一 新倉 良一
: 野口 友弘 坂本 歩美
事 務 局

謹賀新年



平成24年 元旦

神事協・神奈川賛助会

本年も宜しく願申し上げます。